

パーリーアヴェニューの2024（競走馬名：シュヴァルトツペルレ）

牝馬 栗東・武幸四郎厩舎予定 父リアルスティール 母パーリーアヴェニュー

以前に会報でクランドウルスを推奨しましたが、成績不振により、この時期にも拘わらず、引退（ファンD解散）の運びとなってしまいました。ご期待をいただき、「参考に出資した」という方もいらっしゃる、大変申し訳なく思っております。私も出資者の一人ですが、研鑽に努め、精度を高めなければなりません。

今回の推奨馬はパーリーアヴェニューの2024です。筋肉の質感や柔軟性など光るものが随所にありながら、非力な印象が残り、始動や完成は早くないかもしれないと見込んでいました。しかし、ここに来ての成長には目を見張るものがあり、見た目もさることながら、走りの質も着実にレベルアップし、力強さも加わって牧場側の評価も高まる一方です。そして、武幸四郎調教師のトーンも明らかに高くなっており、早期始動も視野に入ってきました。このまま順調に育成が進められるようであれば、函館競馬場に入厩し、札幌競馬でのデビューを目指すというプランも示されています。アルナシームもそうでしたが、この時期に上昇する馬は活躍する確率が高いこともあり、推奨させていただくことにしました。もう1頭と非常に迷いましたが、それはシタディリオの2024です。こちらの評価も上昇しており、5月頃の移動との話も出てきました。ルシュヴァルドールに続き、この世代もリアルスティール産駒が牽引してくれそうな予感です。募集締切まであとわずか…。この週末に思う存分、最後の愛馬選びをお楽しみください。

◎直近の近況

■2026/03/27

ノーザンファーム空港で育成中。引き続き周回ダートコース、屋内坂路を併用して騎乗運動を行っています。牧場担当者は「坂路にてハロン16秒ペースのメニューを積み重ねるとともに、2本目の登坂で15-15も織り交ぜ始めました。もっとボリュームアップを図りたいところですが、飼食いは落ちず、冬毛が抜けて張り艶が上向いたうえ、上品なバランスを維持しています。促さなくてもスピードに乗り、ラストまで勢いは衰えず、動きの良さも変わりません。中身の充実もうかがえ、息の戻りも早くなりました。武先生の意向通り、6月あたりには函館競馬場へ移動できるのではないのでしょうか」とコメントしていました。現在の馬体重は433kgです。

26.2



26.3



※S=東京都出身。過去には北海道で馬の総合商社や牧場&クラブ業務に従事。自身も出資を続け、これまで見てきた馬は数千頭にのぼる。